
マルボロ赤

翠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

マルボロ赤

【Nコード】

N9589A

【作者名】

翠

【あらすじ】

陳腐な恋愛物語です。一週間だけ街にきた「彼」への思い。それは、「アタシ」が初めて感じた叶わぬ恋の痛みなのです。

吐息

春休み前の一週間。

多分一生の中で一番キラキラした時間がものすごいスピードで過ぎていった。

お互い感じてた

気持ちを通じあってるのを

あるとき一人だったアタシが

自分に初めて自信が持てて

自分の考えを持って行動できるようになったのも

全部君のおかげだっていえるよ

まだ寒かったのを覚えてる

ブレザーにマフラー

でも初めて会った時は私服だった

フードにふわふわのリアルファー

友達といるときにあるアーティストの絵が目に入っただの

その絵が気になって話しかけたの。

それがきっかけで

彼の名前は…とりあえず

「彼」

とゆっことにしよう

彼はニルヴァーナって洋楽のグループが好きだった

彼は仕事でこの街に来てて、水曜に帰るっていった

今日は日曜。あと会える日は…月、火？

もう少しだけ

その日のうちにずいぶん打ち解けた

彼の携帯の待ち受けがピストルズのシドだった

あの、ベッドに座って煙草に火つけてる写真の

ピストルズは聞いた事なかったけど、シドは知ってた

NANAに載ってたから 名前が

彼は洋楽が好きだった

アタシも知ったふうな口を聞いた

彼との共通点が欲しかった

彼のさびしそうな目に魅かれていた

ずっとそばにいたいと、初めて思った

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9589a/>

マルボロ赤

2011年1月15日14時26分発行